

ソフトウェア演習II ループリック

学科DP指標	到達目標	対象	配分	レベル3 (10)	レベル2 (8)	レベル3 (6)
D【情報工学活用力】	構造化プログラミング	レポート	20	解決すべき問題をより小さな問題へと分割することで単純な機能を持つ関数の組み合わせとして実現し、その妥当性を説明できる。	解決すべき問題をより小さな問題へと分割することで単純な機能を持つ関数の組み合わせとして実現し、その構造および動作を説明できる。	解決すべき問題をより小さな問題へと分割することで単純な機能を持つ関数の組み合わせとして実現し、その動作を説明できる。
D【情報工学活用力】	データ構造とアルゴリズムの実装 (プログラムの実装能力)	試験	50	構造体およびポインタを用いたデータ構造や、繰り返しおよび条件分岐を用いたアルゴリズムを高品質なプログラムとして実装できる。	構造体およびポインタを用いたデータ構造や、繰り返しおよび条件分岐を用いたアルゴリズムをプログラムとして実装できる。	繰り返しや条件分岐を用いたアルゴリズムをプログラムとして実装できる。
D【情報工学活用力】	データ構造とアルゴリズムの実装 (プログラムの説明能力)	レポート	10	線形リストや二分探索木などのデータ構造および再帰呼出を用いたアルゴリズムをプログラムとして実装し、その妥当性を説明できる。	線形リストや二分探索木などのデータ構造やおよび再帰呼出を用いたアルゴリズムをプログラムとして実装し、その構造および動作を説明できる。	線形リストや二分探索木などのデータ構造や、再帰呼出を用いたアルゴリズムをプログラムとして実装し、その動作を説明できる。
D【情報工学活用力】	プログラムのレビューと評価	レポート	20	設計・実装したプログラムが与えられた要件を満たしていることを客観的に説明できる。	設計・実装したプログラムの構造および動作を客観的に説明できる。	設計・実装したプログラムの動作を説明できる。